

2018

国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)
平成30年度「女子中高生の理系進路選択支援プログラム」

SAGA
RIKEI
JYOSHI



SAGA UNIVERSITY 国立大学法人 佐賀大学

佐賀大学ダイバーシティ推進室
Office for Equality, Diversity, and Inclusion

佐賀大学は、新しい「知」の 創造と伝達のために

地域社会との連携・協力を通じて
ダイバーシティを推進します
男女共同参画の教育と
研究の成果を地域と共有し、
地域の発展に尽します

佐賀大学ダイバーシティ推進基本方針より



CONTENTS

- 継続・育成型高大連携カリキュラム『リケジョへのとびら』P.03
- 地元先進技術企業による現場体験会P.05
- 中学高校での訪問講義型座談会P.06
- 実験体験会 in 佐賀大学P.07
- 訪問講義型実験体験会P.09
- 有田・伊万里地区の中高生向けプログラムP.11
- Diversity TalkP.13
- リケジョの皆さんからのメッセージP.15
- スケジュール／参加者の声P.17
- アンケート結果／トピックスP.18

本報告書は、国立研究開発法人科学技術振興機構との実施協定に基づき、国立大学法人佐賀大学が実施した平成30年度女子中高生の理系進路選択支援プログラム「継続・育成型リケジョプラットホーム in SAGA」の成果を取りまとめたものです。

室長あいさつ

MESSAGE



佐賀大学
ダイバーシティ推進室 室長
城戸 瑞穂

佐賀大学には、性別や性的指向、民族、国籍、年齢、障がいの有無にかかわらず、認め合いあいながら学ぶ環境を実現するため、を「ダイバーシティ推進室」があります。

中高生のみなさんは、「リケジョ」、理系の選択をした女性を指すこの言葉、聞いたことはあるでしょうか。皆様の身近にもおられる数学や理科、家庭科の学校の先生や、健診や病気の時に会う看護師さんや保健師さん、お医者さんや歯医者さん、は理系選択に分類されるでしょう。それぞれの職場で生き活きと活躍されている姿が目に見えませんか。

でしょうか。

佐賀大学は今年度から2年間、「継続・育成型リケジョプラットフォーム in SAGA」として、リケジョを応援する事業を行っています。

小さい頃は、不思議に思ったら、なぜ?どうして?と周りに聞いていた皆さんも大きくなると自分で調べ、先人の発見に心が躍ったり、実験してみて予想と違う結果が出たりして、ワクワクする気持ちになることもたくさんあると思います。その中から一生取り組む仕事にしてみようかなと考える人もいらっしゃるでしょうか。ぜひ、その気持ちを宝物にして、自然な気持ちで進路を選択してみませんか。

女子中高生、保護者様、 行政の皆様、学校の先生方へ

2018年度に発足した「継続・育成型リケジョプラットフォーム in SAGA」。1年間で21企画、1345名（うち、女子中高生746名）にご参加頂きました。ご参加、ご協力頂いた皆さん、本当にありがとうございました。生徒様たちの笑顔が何よりの原動力でした。大学の先生の講義や大学生・大学院生との話、体験実験等を通じて、少しでも理系進路や佐賀大学を身近に感じて頂けたら嬉しいです。2019年度もみなさまの未来に役に立てるようなものを、よりパワーアップしてお届けしたいと思っていますので、よろしくお願いします。

ダイバーシティ推進室 副室長 荒木 薫（実施担当）

☆ 継続・育成型高大連携カリキュラム 『リケジョへのとびら』 ☆

実施／佐賀大学

佐賀大学では、『とびらシリーズ』として、継続・育成型の高大連携カリキュラムを佐賀県教育委員会と協力して開発・実施しています。「医療」または「科学」に興味のある高校生を対象に、大学教員による最先端の講義や大学院生や社会人とのディスカッションを通じて自らの希望進路について理解を深める「リケジョへのとびら」を開講しました。

01.「医療人」編

6月17日

参加32名
(高1)

現役医師からの講話

「君たちはどう生きるか
(救急専門医の仕事～ドクターヘリを中心に～)」
医学部救急医学講座／岩村高志 准教授



ダイバーシティ入門講義

全ての講義に、「ダイバーシティ」について学ぶ時間を設けています。個人の多様性を尊重し、その違いを積極的に活かすことがこれからの社会に必要なことを伝えてます。



ダイバーシティ推進室／荒木薫 特任助教

現役医学生と理想の医師について、
熱いディスカッション!



ワールドカフェ形式のグループセッション

テーマ1「天国と地獄・理想と現実」
テーマ2「患者にとって、良い医師とはどんな人？」
ファシリテータ 全学教育機構／山内一祥 講師

10月21日

参加12名
(高2)

現役医師からの講話

「小児科の魅力」
医学部小児科／古賀大介 教育指導助教



02.「科学」編



今回は、海洋生物について学びました。



6月17日

参加26名
(高1)

科学最前線の話

「海の生物学研究の最先端を知ろう」
農学部 / 木村圭 講師



6月17日

参加39名
(高2)

科学の多様な
研究分野を知る

理工学部 / 和久屋寛 准教授
理工学部 / 長田聡史 准教授
農学部 / 関清彦 講師



科学の3分野からの、
リレー講座！



高校2年生からの
研究発表

高校1年生は
研究計画を
立てました



3月17日
参加44名
(高1、高2)

研究発表会



Message for RIKEJYO

アドミッションセンター長 ＊
＊ 西郡大 教授



佐賀大学が取り組む継続・育成型高大連携カリキュラムの「科学へのとびら」と「医療へのとびら」と連携して「リケジョのとびら」が始まりました。科学や医療の分野への興味・関心の喚起だけでなく、理系女子の大学での学びや働き方に関するビジョンも学べます。多様な人材が実力を発揮できるダイバーシティの考え方が広がる中、女子だけでなく男子生徒にとっても有意義なプログラムです。





地元先進技術企業による 現場体験会



最先端技術を学ぼう! in OPTiM

実施 / 佐賀大学 オプティムヘッドクォータービル

9月8日
参加25名

インターネットを自由に使える世界とは?第4次産業革命ってなんだろう?佐賀大学教育学部附属中学校の生徒が株式会社OPTiMに訪問し、各産業とITを組み合わせたテクノロジーを学びました。ドローン捜査の実演を行ったり AIで店舗管理がされた無人店舗の1号店モノタロウ AIストアを体験しました。

オプティムとは

2000年起業。「ネットを空気に変える」というコンセプトのもと、様々なインターネットプロダクトの開発を行う。

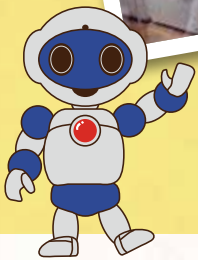
OPTiM



オプティムイノベーション
パークにはたくさん
のツオラマが!



無人店舗で
買い物体験!



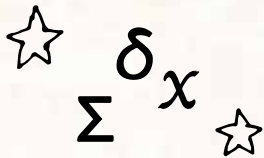
Message for RIKEJYO

株式会社 OPTiM
鶴丸智子



「オプティムは世界一、AIを実用化する企業を目指し、社員一同が「熱い!面白い!」と思えることを全力で取り組み、成長してきました。また、私自身も今、仕事を楽しんでいる環境で日々奮闘しています。悩んで考えて学んだことは絶対に皆さんの力になるので、勉強も遊びも運動も全力で取り組んで、人生を楽しめるような選択肢をたくさん増やしていきましょう。





中学高校での 訪問講義型座談会



当取り組みでは、「ロールモデル」として、女子中高生の数年先の姿となる、女子大学生・大学院生や社会人女性との対話の場を設けるようにしています。「大学生の自分を想像することができた」「大学院を身近に感じることができるようになった」と好評な企画の1つです。

実施01 大分県立日田高等学校

9月29日
参加16名



自分が
一番興味のある
ロールモデルの先輩と
話しました。

ロールモデル

大学生(農学部)
大学院生(理工学部)
女性医師
女性研究者

Message for RIKEJYO

不二ライトメタル株式会社
技術本部 研究開発部
研究開発グループ

＊ 佐々木美波 ＊



母校の可愛い後輩たちに、思わぬ形で会うことができ、とっても楽しい時間を過ごせました。技術者として働く姿が、皆さんにどのように伝わったかな・・色んなキャリアモデルを見れば、これからの進路選択に、きっと役に立つと思います！

実施02 佐賀清和高等学校

11月5日
参加31名



ロールモデル
大学生(農学部)

大学生の、文理選択・大学受験・
大学生活・就職活動までの話に、
みなさん真剣に耳を傾けていました。

実施03 佐賀大学教育学部附属中学校

12月7日
参加72名



中学生の質問に
丁寧に回答して
もらいました。

ロールモデル

大学生(農学部)
大学院生(理工学部)
女性医師
女性研究者

Message for RIKEJYO

＊ 佐賀大学医学部
泌尿器科 医師
柿木優佳 ＊



皆さんの可能性に満ちあふれた若いエネルギーに触れることができ、自分にとっても良い刺激になりました。理系に進もうか迷っている人にとって、今回の講演が良い後押しになることを願っています。医師のやりがいや泌尿器科の仕事にも興味を持ってくれたら嬉しいです。



実験体験会 in 佐賀大学



佐賀大学には、佐賀市の本庄キャンパス、鍋島キャンパスの他に、唐津市や西松浦郡有田町にもキャンパスがあります。それぞれのキャンパスにて、実験体験会や現役の大学生・大学院生との交流会を開催しました。大学の広い講義室で学び、実際の実験機器に触れることで、大学生の自分を想像してもらうよいきっかけとなれば幸いです。



女子のためのセラミックサイエンスの世界

実施／佐賀大学 有田キャンパス

有田キャンパスには、芸術地域デザイン学部芸術表現コース有田セラミック分野と肥前セラミック研究センターがあります。今回は、芸術地域デザイン学部、赤津隆教授と湯之原淳講師の指導のもと、石膏型を用いた排泥鑄込み成形で佐賀大学の公式マスコットキャラクター、カッチー君を作りました。泥漿について科学的に学ぶ講義も行われ、芸術分野には化学の知識も必要であることを学びました。



8月8日
参加33名
(中学生)

STEP
1

泥漿を
流し込みます



STEP
2

そーと
型を外します



STEP
3

色を付けて
できあがり



Message for RIKEJYO

芸術地域デザイン学部

＊ 小坂智子 学部長 ＊



焼き物で著名な有田町にある佐賀大学有田キャンパスでは、陶磁器制作の実習やセラミックスの研究が行われています。実験体験会「石膏型を用いた排泥鑄込み成形でカッチー君を作ろう！」では、泥漿を石膏型に流し込んで形作る「鑄込み成形」で、大学の公式マスコットキャラクター「カッチー君」を制作しました。実際に石膏型から、カッチー君を抜き出す体験も行い、サイエンスからアートのもの作りまでを短時間で体験し、理系の知識の活かし方も学んでいただけたのではないかと思います。



美しいランの裏の姿～菌類を巧みに操るしたたかな植物～

実施／佐賀大学 本庄キャンパス(本学)

本学の農学部では、ラン科植物にスポットを当て、植物を取り巻く不思議や絶滅危惧植物の保全について学びました。前半は女性教員による講義、後半は、光学・実態顕微鏡を用いランの菌糸を観察しました。ランの種は粉のように小さく、みなさん興味深そうに観察していました。

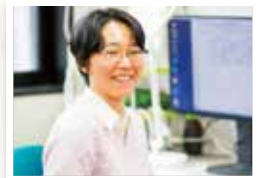
8月19日
参加6名
(高校生)



Message for RIKEJYO

農学部

＊ 辻田有紀 准教授 ＊



私は高校生の時に、生物が一番好きな科目でした。数学や物理は苦手でしたが、理系に進学し今も生物学に関わっています。女の子だから、数学が苦手だから…といった理系進学をあきらめるなんてもったいない！皆さんのやる気と実力は、理系分野でも男の子に引けを取ることはなく、様々な分野で活躍できます。農学部では約半数が女子学生です。皆さんと一緒にまた大学で勉強できるのを楽しみにしています。



ようこそ!SAGAアグリガールの世界へ!

実施／佐賀大学農学部附属アグリ創生教育研究センター 唐津キャンパス

農学部がある唐津キャンパスでは、唐津市の中高生を対象に「伝統植物ムラサキから薬用色素を抽出しよう」(渡邊啓一 教授)、「DNAを抽出してみよう」(川添嘉徳 特任准教授)、「天然素材を利用した石鹸をつくってみよう」(川口真一 特任助教)の3講座を開催しました。

11月10日
参加23名
(中高生)



石鹸の完成が
楽しみ!

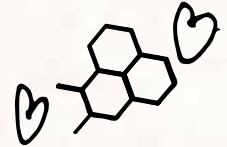


伝統植物ムラサキからの
薬用色素です!





訪問講義型実験体験会



女子中高生と進路指導の先生方を対象として、佐賀県内の高校や中学校で訪問講義型実験体験会を行いました。併せてダイバーシティ入門講義や女子大学生・大学院生の講演も行い、普段の授業とは一味違った時間を提供することができました。

テクノロジーから将来の夢へ
～雷放電を利用して電磁波通信機を作ろう!～

8月22日
参加19名

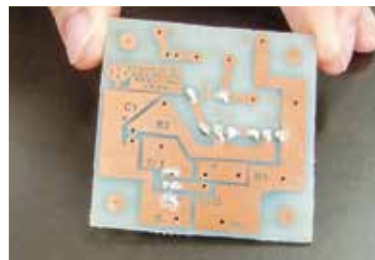
実施／佐賀県立鳥栖高等学校

8月22日に鳥栖高校の女子高校生を対象に、雷放電の性質を利用した電磁波検出器を作成しました。オリジナルのプリント基板の上に部品をはんだ付けして回路を作成することで、これがあらゆる電気製品の基礎技術になっていることを学びました。

はんだ付けが大苦戦!



カミナリを模倣した放電しよま
大歓声が上がりました。



Message for RIKEJYO

理工学部 電気電子工学科

* 三沢達也 助教 *



今回は、自然界で見られる雷の様な放電現象の観察と、その特性を利用した電磁波通信の実験を行いました。雷放電を利用した通信実験は、19世紀末から発達した電磁波通信の開発初期に利用されたものです。私たちが利用している科学技術は、自然現象からヒントを得ているものが多くあります。皆さんの周りには様々な現象や技術に興味を持って掘り下げていくことで、新しい分野を切り開いていくことが出来ると期待しています。



文理選択を考えよう! ～DNAを抽出してみよう!～



実施 / 佐賀県立致遠館中学校

12月20日に致遠館中学校の女子中学生を対象に、ブロッコリーを用いたDNA抽出実験会を行いました。DNAや遺伝子についての基礎知識の講義が行われた後、すり鉢・すりこぎ・コーヒーフィルターなど身近なものを使って、DNAを抽出しました。併せて、ギムネマ茶とチョコレートでギムネマの甘味阻害効果を体感したり、アルコールランプを用いた炎色反応の演示実験が行われ、科学が身近な生活に活かされていることを学びました。

太さ約0.2nmの
ブロッコリーのDNA!



ナトリウム(Na)、リチウム(Li)、銅(Cu)の炎色反応です



Message for RIKEJYO

農学部
附属アグリ創生教育研究センター

川添嘉徳 准教授

今回の主題はブロッコリーのDNAを自分の目で確認する事でしたが、それ以外に、数個おまけの実験を用意して本番に臨みました。理科の授業で習う事が私たちの身の回りの商品に生かされている事を知り、科学技術による夢を語りたかったからです。幸い、興味を持って聞いてもらう事ができました。本体験を通じて、科学の夢を広げて行ってくださることを期待します。

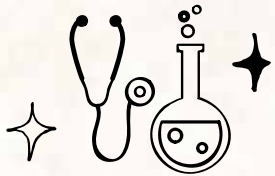


中止
イベント



10月6日(土)、佐賀県立佐賀東高校では、お茶の水大学 理系女性教育開発共同機構 CORE of STEM 様の協力の元、「プラレールで数学しよう!」で一次関数について学ぶ予定でしたが、台風接近のため中止となりました。生徒様の事前の期待も高かったので残念でした。





有田・伊万里地区の 中高生向けプログラム



有田でリケジョ体験! in 女性フェスタ

3月3日

参加29名
(中高生)

実施／歴史と文化の森公園
焔の博記念堂 コンベンションホール

人口2万人の「西松浦郡有田町」を舞台に、有田町・伊万里有田共立病院と協力し、芸術・科学・医療の3つの分野の実験体験会を実施しました。有田町で毎年開催されている「有田町女性フェスタ」も同時開催され、女子中高生のみならず保護者や地域の方など多くの方の目に触れる賑やかなイベントとなりました。

当取り組みの目的の1つに「地域格差の是正」があります。今後も「佐賀から日本へ!世界へ!」を目指し、たくさんの地域の皆様に学びの場を提供していきます。



iPadで未来をデザインしよう! ~アニメアプリ体験~

iPadを使ったアニメーション制作を行いました。最初にアニメーションの原理を学び、後半はそれぞれ自由な発想でアニメーションを制作。会の最後には、全員の作品をつなぎ合わせて90秒のアニメーションが完成しました。

実施1
芸術ブース
参加11名



Message for RIKEJYO

芸術地域デザイン学部

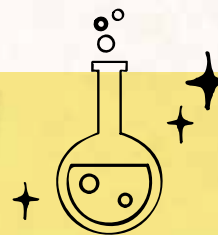
中村隆俊 教授

クリエイティブな分野には発想、筋道のたて方等理系的能力は必要。アニメーションはただ絵を描くだけではなく発想、動き、展開など色々なことを意識しなければなりません。iPadというツールを使いながらその理系的能力開花のサポートができればと思います。

人工イクラを作ってみよう

アルギン酸ナトリウム、塩化カルシウムを用いて人工イクラを作りました。色素や光るジュース、磁石の性質を持つセラミック粉末を混ぜることで、各自、色とりどりでいろいろな機能を持つ人工イクラが出来上がりました。

実施2
化学ブース
参加8名



Message for RIKEJYO

理工学部・肥前セラミック
研究センター

＊ 矢田光徳 准教授 ＊

中高の授業では実験が少なく、苦手のままで終わる子も少なくありません。今回はいろいろな専門器具に触れること、身近なもの(今回はジュース)を使用することによる化学的变化を体験することで教科書だけではわからない化学のおもしろさを伝え、苦手意識の変化に繋がれたらと思います。

めざせミライのDoctor-X!

実際の現場で使用されている凝固切開装置や腹腔鏡器具を用い、医療の現場を体感しました。近年の医学の進歩を実際に体験できたと同時に、命の尊さやチーム医療について学ぶことができました。

実施3
医療ブース
参加10名



Message for RIKEJYO

伊万里有田共立病院
産婦人科 医長

＊ 荒木保博 ＊

産婦人科をはじめ、医療の現場は今後女性の活躍が期待されています。今回は地域医療に対する理解を促すとともに、実際の機器を使った手術体験をしてもらうことで、医療に必要なこと、スタッフとの連携の大切さなどを知り、医療への興味を深めてほしいですね。

目的意識を持ち、自分の道は自分で決める人になってほしい。

そのために佐賀大学でできることがたくさんあります。

なぜ今リケジョを社会が注目しているのか？

産業構造の変化が活発化しているなか、理数系の女性の躍進が大いに注目されています。商品開発や研究において女性ならではの視点が企業パフォーマンスの向上にひと役かっているからです。そのため女性の理系専門職の需要は今後ますます高まる傾向にあります。これを受け、佐賀大学は中学校や高校という早い段階からの理系進学をサポートをするなど、質の高い教育環境づくりとして『継続・育成型リケジョプラットフォーム in SAGA』を発足。様々なプログラムで中高生の前向きな進路選択を応援しています！

ここがこだわり! 継続・育成型リケジョプラットフォーム in SAGA

●すべての企画にダイバーシティ入門講義を設置

全企画にダイバーシティ推進室専任教員による、キャリア講義を行っています。これからの未来がどのようなものになるかの理解を深め、自らの意思で未来を切り開ききっかけになれるような講義内容となっています。

●佐賀大学の全学部で創造力のある女性づくりを推進

医学部・理工学部・農学部は勿論ですが、教育学部・芸術地域デザイン学部、経済学部にも協力いただき、大学・大学院進学への魅力についてお伝えします。

●近未来ロールモデルとして大学生と中高生たちの座談会開催

中高生と年齢の近いロールモデルとして、大学生・大学院に現在の大学生生活や研究内容について話していただきます。大学進学をよりイメージしやすくなったと好評を博しています。

●段階に応じたプログラムを準備

中学に入学したばかりや、文系理系どちらか迷っている、理系だけどの学部に進むかまだはっきりしていない……。中高生の悩みは千差万別です。段階に応じた効果的な取り組みを提供します。

現リケジョから未来の

【研究者にとって性別は関係ない】

荒木: 龍田先生の簡単なお略歴と現在の仕事について教えてください。

龍田: 佐賀大学の農学部に入學し、環境とか土壌の微生物の研究をしながら大学院、博士課程まで進みました。現在は分析機器の維持管理やメンテナンスをしながら大学の教員や学生が機器を使うときのサポートをしています。それまではずっと研究室にいました。

荒木: どのような研究をされているのですか？

龍田: わかりやすく言うと、環境中にどんな微生物がどれくらい存在しているかについて、顕微鏡などを使って研究しています。また、植物の病気を防ぐ微生物を土壌や堆肥から分離して、その性質を調べたりもしています。

荒木: 理系に進んだきっかけはなんですか？

龍田: 小学生の頃にみたアニメがきっかけです。テレビで多く報道されていることとリンクしていたのもあるでしょうが、そのアニメが汚れた世界を菌類が浄化してくれているというフレーズ

があるんです。それを見て、生き物で環境をきれいにするなんてすばらしいなと興味をもったのがはじまりでした。ちょうど環境問題も報道等でクローズアップされていたので余計に意識したのだと思います。

荒木: 理系に進むことに対してご両親は何も言われなかったのですか？

龍田: 好きなことをやらせてくれたという両親の理解も大きな支えでしたね。進路も進学も理系に進むことにいっさい反対もなく。

荒木: 佐賀大学は、国内の国公立(女子大を除く)の中では女子学生の数がとても多い大学といわれています。農学部や医学部では特に顕著です。ですがその後の進路、いわゆる大学院に進み研究をすすめるというような状況になると一気に数が減ってしまいますよね。

龍田: 確かに少ないですね。大学院まで進み、そのスキルを活かして企業で活躍しているというロールモデルが身近にないから情報がわからないというのも減少する要因だと思います。わたしはその意思が揺らぐことはありませんでした。

荒木: 先生のように、自分が手がける研究が、世界中の人々のためになるわけですから、やりがいのある職業ですね。結婚・出産後も仕事を続けることにしても揺らぐことはなかったのですか？

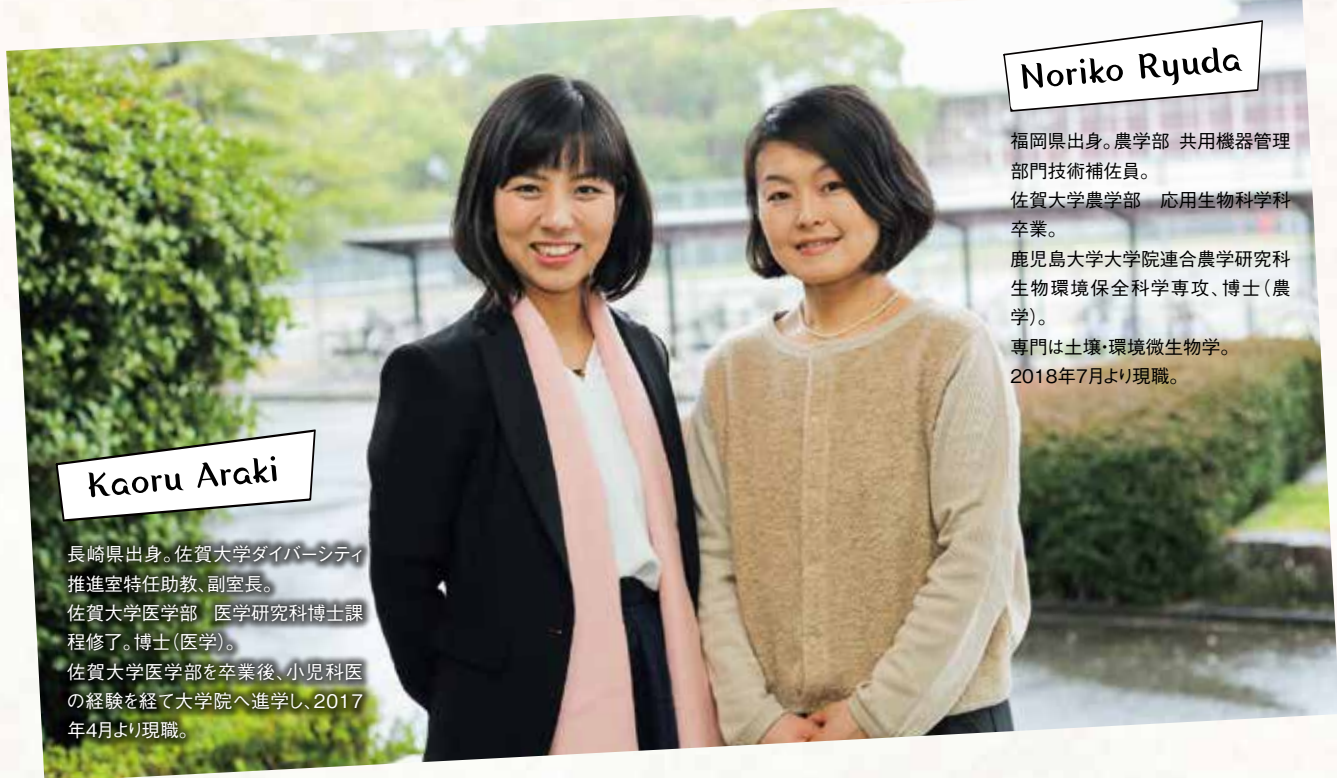
龍田: ありませんでした。もともとうちの母親も子育てしながら仕事をしていたということもありました。女性研究者同士でもよく話しますが、結婚問題はさしてハードルではないと思っ



佐賀大学
ダイバーシティ推進室
副室長

あらかい かおる

荒木 薫



Kaoru Araki

長崎県出身。佐賀大学ダイバーシティ推進室特任助教、副室長。
佐賀大学医学部 医学研究科博士課程修了。博士(医学)。
佐賀大学医学部を卒業後、小児科医の経験を経て大学院へ進学し、2017年4月より現職。

Noriko Ryuda

福岡県出身。農学部 共用機器管理部門技術補佐員。
佐賀大学農学部 応用生物科学科卒業。
鹿児島大学大学院連合農学研究科 生物環境保全科学専攻、博士(農学)。
専門は土壌・環境微生物学。
2018年7月より現職。

大学生のみなさんへ

ています。確かに出産は研究のパフォーマンスが一時的にさがることあります。しかし支援してくれる企業等も増えてきていますよね。

荒木: 佐賀大学でも、子育てや介護と仕事を両立する人々のための支援策が数多くあります。若い方々に選んでもらえる職場になるためには、例えば男性の育休を推進するなど、10年前は考えられなかったものも取り入れていかないとはいけません。

龍田: 今の中高生が就職する頃には、性別による働きやすさ・働きにくさは、なくなっているかもしれませんね。

荒木: いつか「リケジョ」という言葉もなくなって、進路や職業に性別が関係なくなる社会がくることを信じています。

【周りに流されることなく自分の意思で未来を創れる人に】

龍田: けれど、まだまだ女性が少ない現状を変えていくにはやはり中学や高校の時から意識改革が必要になると思うのです。地域格差の問題もあるようですね。情報収集や意識のアンテナが都会と地方では全然違うようですから。

荒木: 「女子だから文系が得意だろう」や「女子だから大学院まではいかなくていい」ということをご両親や祖父母、先生にいわれたことがあるという高校生が未だに多いことに驚きます。自分が好きなこと、やりたいことを深く考えないまま、大学での理系専攻や大学院進学が進路の選択肢から外れてしまうのはとても残念です。いまの中高生のみなさんには、男女問わずですが、不思議だなと思ったことをとことん探求する楽しさをもっと

佐賀大学 農学部
共用機器管理部門
りゅうだ のりこ

龍田 典子



知って欲しいですし、そのためのサポートを佐賀大学ならではのプログラムでバックアップしていきます。

龍田: 今は文理融合と言われている時代です。様々な問題に対して柔軟な発想でどう解決するかが重要です。解決するまでには目的や手法、結果、考察の繰り返しですから、このような論理的思考の習慣づけ、考える事への意識づけができるようになれば、研究だけではなく社会人としても必要とされる人材になれると思います。女子学生の進路選択は、同じ女性の指導者にどれだけ多く触れるかで変化するともいわれていますし、プログラムを通して私たちも協力していきます。

荒木: 中高生のみなさんとお話すると、部活動や友達、試験でとても忙しそうです。でも、いつもいる世界から離れたところに目を向け、得られるものって実はとても大きいのです。やりたいことは知っていることからしか生まれません。未来を担う皆さんには多くの選択肢があります。そのきっかけづくりとして佐賀大学のリケジョプラットホーム in SAGAIに、ぜひ遊びに来て欲しいと思います。



Message from RIKEJYO

これまで、15名の女子大学生・大学院生の方々に講義や実験補助で企画に参加してもらいました。企画に参加した感想や中高生のみなさんへのメッセージをお届けします。



佐賀大学 経済学部
内田 杏菜さん

私は現在経済学部という文系の学部には所属していませんが、高校3年間は理系でした。受験時に文転をするという少数しか経験しない道を選んだもの一人として、今回リケジョのイベントに参加させて頂きました。中学生に、なぜ理系に進んだのかや文転の経緯の話をするのはつまらないかなと不安でしたが、みんな熱心に聞いてくれてとても嬉しかったです。私の経験をしっかり理解してもらったうえで、リケジョの道を歩む決断をしてくれる方が少しでも多くなってくれたら幸いです。今しかできないことやたくさんの人から刺激をもらって、自分の将来像を体現させていってください。



芸術地域デザイン学部
芸術地域デザイン学科
フィールドデザイン専攻
宮崎 優衣さん

私の所属している学部は周りの学部とは少し違い、理系でも文系でもあります。学部の名前には「芸術」と入っていますが、絵が苦手な人もいますし、実際私は現在マーケティングを勉強しており芸術とは少し離れた分野を勉強しています。このように学部の名前を聞いただけではわからないことがたくさんあります。少しでも不安を解消するために、是非このようなイベントにどんどん参加して、実際に先輩たちの声を聞いてみてください。私は今回リケジョの企画に二回参加させて頂いたのですが、皆さんの前で話させてもらえたりアドバイスが出来たり、中高生の皆さんとお話が出来て私にとっても大変良い経験になりました。少しでも皆さんのお力になれば幸いです。応援しています！



佐賀大学 大学院
農学研究科
居石 優子さん

リケジョのイベントで嬉しかったのは、「大学のイメージが変わった」という言葉をもらったことです。高校生からすれば、大学はレポートや研究に追われるのでは？というマイナスのイメージもあったようで、それを変え、大学の良さを知ってもらえて嬉しかったです。また女子だけでなく、男子も参加しており、このような大学生から話を聞く場は貴重だと感じました。参加したいがあったと思いました。



佐賀大学 農学部
生物環境科学科
古賀 夕貴さん

高校生は理系や研究生のイメージはしにくいとは思いますが、このイベントに参加してみて、理系の研究が身近なものに関わっているのを感じてもらえたかなと思いました。私自身、高校生の頃を振り返ると、名前や印象だけで考えてしまいがちでしたが、説明会で実際にはなしを聞いたり、実際に大学に行ったりすることで大きくイメージが変わることはたくさんありました。将来何をしたいと具体的に決めていなくても、何に興味があるのかから始めて、理系教科が苦手だからと諦めず、選択肢を広げつつ情報収集を行ってほしいと思っています。



佐賀大学 大学院
農学研究科
宮川 幸さん

DNA抽出実験をはじめ、振っただけで液体の色が変化したり、特殊なお茶を飲むと味覚が変わってしまふような不思議な現象も体験することで、話を聞くだけでは伝わらない理系の面白さや実験の楽しさを感じることができたのではないかと思います。自分の手で未知なるものを解明したり、既存の製品を科学的な側面から改良したり、あるいはこれまででないものを創ることが面白いくらいで、理系の醍醐味だと思います。研究や勉強は化粧品に関する研究を行っていますが、自分の好きな大変だと感じることもあります。理系のものに携わることが出来る楽しさがあります。理系系と言っても幅広い分野があり、たくさんの女性が活躍できる場があります。好きなものややりたいことが決まっていなくても、やりたいことが決まっていなくても、理系に進めば面白い世界を発見できると思います。



大分大学 大学院
工学研究科
平川 えりかさん

今回、様々な学校の高校生と話すことで、自分の今までの学生生活や、進路選択の時の考え方などを振り返ることができました。改めて自分を見直すいい機会になりました。高校生の皆さんの話を聞いてみると、「理系に進みたいけれど、数学や物理が苦手」という意見が多かったように思います。私も、数学や物理は苦手でしたが、全部得意になるのではなく、できることを増やしていこうという考えで乗り切ってきました。また、自分のやりたい職業が理系だったことも、勉強のモチベーションにつながったと思います。現在も、理系科目が苦手なことに変わりはありませんが、毎日勉強だと思いついて、頑張っています。そのため、毎日とても充実している、いい経験ができていると思います。理系に興味はあるけど、理系科目が苦手という皆さん、苦手なことにチャレンジしてみませんか？きっと充実した毎日を送ることができると思います！



佐賀大学 大学院
農学研究科
黒木 紗英さん

女子中高生の皆さんには、目の前にあるたくさんの機会を活かし、チャレンジして欲しいと思います。やりたいことや、なりたい自分が今はまだ見えないという方も多くいらっしゃると思いますし、自分もそうでした。私は生物や自然が大好きで理系に進み、大学では植物や創薬の研究にチャレンジしました。皆さんの周りには、きっとたくさんのきっかけがあるはず。これから自分の将来について悩むこともあると思いますが、今回のイベントを機に少しでも向き合ってもらえたらと思います。もちろん、大変なときもありますが、自分が望んだ道というのは自信、勇気につながり、自分自身を成長させてくれます。本当にやりたいことをみつけるためにチャレンジし、自分の手で明るい未来を切り開いてください。みなさんの活躍を祈っています。



佐賀大学 農学部
生命機能科学科
竹谷 千代恵さん

私は医師を目指し理系に進みましたが受験に失敗し、農学部に進学しました。「生きものに関わりたいたい」という漠然とした理由で農学部を選びましたが、今はこれでよかったと思います。なぜなら、高校時代の私は医療に関わる仕事だけが人の役に立つ仕事だと思っていましたが、どの学問も職業も人の生活を支えるものだとは知ったからです。大学では、成功するとは限らない研究を日々繰り返します。高校生の時はテストで高得点を取ることを求められましたが、大学では答えのない問題にとことん向き合う必要があります。だからこそ、自分が好きだからという理由で理系に進むことを諦めてほくほくはないです。大学受験に失敗し自分を責めた時もありましたが、今回このような機会を頂き大学生活を振り返ると、自分が納得するまで学び、勉強以外のことにも沢山挑戦してきたことを少し誇らしく思いました。



佐賀大学 農学部
生物環境科学科
田崎 小春さん

私は女子中高生の理系進路選択支援プログラムということで初めて参加させていただきました。私は大学生生活で「発展途上国の農業に貢献したい」という思いを持ち日々目標に向かって勉強に励んでいます。中高生の皆さんにはぜひ今の内から多くのことを経験し、自分が主体的に、また積極的にやってやりたい!と思えること、自分が本当に楽しい!と思えることを見つけてほしいなと思います。学校生活は長いようで短いですから、今の時間を楽しんでほしいです。目標に向かって頑張ってください!



佐賀大学 大学院
農学研究科
島崎 茜さん

私が中学や高校の頃、性別で理系/文系を選ぶ人はいなかったの、今そういう観点から選択を行うことがあると聞いて驚きました。理系/文系の選択に限らず、今後沢山の選択が待っています。しっかり考えて出した答えに間違いはありません。選択した道の先が思っていたものと違ったら、そう感じた時点から方向修正していけばいいと思います。世の中には様々な考え方があり、社会はコミュニケーションで成り立っています。自分と違う意見にも耳を傾け、自分の意見を相手にぜひ伝えてほしいです。



佐賀大学 大学院
農学研究科
野口 由佳さん

今回リケジョに興味のある中高生の皆さんとの座談会に参加させていただきました。私の研究内容や大学生活についてのプレゼンもさせていただき、「農学部ってこんな研究もしているんだ、楽しそう!」と言われてもらい嬉しく思っていました。私自身理系科目が好きだからと理系を選択したのですが、このプログラムのように実際にリケジョの皆さんからお話を聞き、より詳しい情報を知ること、「理系科目は苦手だけど、〇〇ついて学びたいから理系を選択する」と考える学生も増えるのではと感じました。大事な進路だからこそ、情報を知る手段を学校の先生や親に限ってしまいがちですが、今回のプログラムに参加していた皆さんのように一歩先に踏み出してくれたらと思います。



佐賀大学 理工学部
機能物質化学科
横山 郁さん

日本の中高生は、自分の将来を決めずとも次に進むことができます。それゆえ大学3年生の就職活動目前にして、自分の人生の大半となる仕事(職業)をたった半年程で決めざるを得ないと思います。しかし理系の将来こそ、中高生からは想像しがたムは、自分の将来を考え始めるための最高の機会だと思いました。年が近いからこそ、中高生にとってよりリアルな将来像を伝えることができたと思います。中高生の皆さんへ。私が理系科目を勉強するなかで得たものは、知識だけではありません。単語が分からなくてやすい指示の出し方、体育祭のリーダーとして分かりやすく作る力もその一つです(実際は分かりませんが汗)。私にとって理系に進んだ恩恵は、想像以上に大きいと感じています。大変そうと目のことだけで決めず、少し先を考えて進路を決めてみてください。



佐賀大学 大学院
工学系研究科
先端融合工学専攻
木谷 栄美さん

この企画に参加して、自分がなぜ理系に進学したのか考える良い機会になったと思います。この企画に参加した他の人の話を聞いていて、何か興味がある分野があり、その分野が理系だったため理系への進学を決めた、という人が多かった印象があります。自分も昔から化学・生物といった理系分野に興味を持っていました。興味を持つことは大切なのだと感じました。中高生の皆さんの中には理系分野に興味はあるけど勉強が苦手、という人もいらっしゃるかもしれません。でも問題ありません。私、高校の数学Ⅲの定期試験は悲惨な結果で、化学も得意というわけではありませんでした。そんな私でもやっていけます。苦難はありますが、私が話した内容で理系進学の選択肢を増やすことができたら嬉しいです。



佐賀大学 大学院
工学系研究科
高崎 夕希さん

私自身も高校生の時に、“とりあえず理系”という具体的な展望を持たず文理選択をしました。今回の高校訪問では、そこから生じる将来への不安を少しでも解消できたらと思い話をしました。理系は大変なこと多いですが、確実に知識はついてきます。大学院に進学したことで、今まで授業を聞くだけだったものが実際に手を動かして考えることで様々な経験と知識として身に付けることができました。なんとなく進んだ理系でしたが、今は進んでよかったと思っています。就職活動では念願だった研究職に就くことができました。大変なことたくさんありましたが、自分が頑張った分だけ、真剣に取り組んだ分だけ力になっているなど実感できました。勉強も遊びも全力で取り組み、充実した学校生活を送ってください。

2018年度 SCHEDULE

2018年

6月

継続・育成型高大連携カリキュラム
「リケジョへのとびら」(医療人、科学)
06月17日 佐賀大学

8月

高校訪問出前型講義
08月01日 九州産業大学付属九州産業高等学校

女子のためのセラミックサイエンスの世界
08月08日 佐賀大学有田キャンパス

科学の甲子園
08月09日 佐賀県立 致遠館高等学校

美しいランの裏の姿
～菌類を巧みに操るしたたかな植物～
08月19日 佐賀大学

テクノロジーから将来の夢へ
08月22日 佐賀県立 鳥栖高等学校

9月

地元先進技術企業による
現場体験会と取材訪問
09月08日 株式会社OPTIM

理系の世界を覗いてみよう!
09月29日 大分県立 日田高等学校

10月

継続・育成型高大連携カリキュラム
「リケジョへのとびら」(医療人)
10月21日 佐賀大学

大学訪問:玄洋高校
10月24日 佐賀大学

保護者への男女共同参画入門講義
10月26日 佐賀大学

11月

ジョイントセミナー
11月05日 佐賀清和高等学校

ようこそ!SAGAアグリガールの世界へ!
11月10日 佐賀大学唐津キャンパス

大学訪問:香南中学校
11月16日 佐賀大学

大学訪問:唐津東中学校
11月24日 佐賀大学

12月

大学訪問:唐津西中学校
12月04日 佐賀大学

10年後の自分を覗いてみよう!
12月07日 佐賀大学教育学部附属中学校

文理選択を考えよう
12月20日 佐賀県立 致遠館中学校

2019年

3月

有田でリケジョ体験! in 女性フェスタ
03月03日 有田町 焔の博記念堂

継続・育成型高大連携カリキュラム
「リケジョへのとびら」(科学)
03月17日 佐賀大学



女子のための

セラミックサイエンスの世界(8/8)

- ◆おもしろいと思ったから絶対に理系にしようと思った。
- ◆リケジョがどういう事か分かったし、理系は楽しそうと思った。
- ◆大学生の日常生活について知ることができ、将来の役に立ったと思いました。

科学の甲子園(8/9)

- ◆外国と比べて日本の女性の研究者が少ないこと。
- ◆普段は考えない身のまわりの科学について深く考えることができた。
- ◆今の日本と世界の違いが分かった。

美しいランの裏の姿(8/19)

- ◆生物学的知識を深めることができた。
- ◆農学部に興味があったので、そのことについて聞けた。
- ◆顕微鏡を使って実際に見たり、袋を作ったりと体験でリアルな研究室の姿が見れてよかった。

理系の世界を覗いてみよう!(9/29)

- ◆今は大変だけど、好きなことを学べるように頑張ろうと思います!!
- ◆現場での実体験を聞くことができ、理系にもっと行きたくなった。
- ◆理系の中でも色々な分野があると分かって、自分の視野が広がった。

リケジョへのとびら(医療人)(10/21)

- ◆小児科に興味があったけど、より詳しい内容を知ることができた。
- ◆小児科はどのような仕事なのか分かり、魅力を感じた。
- ◆目標がより明確になった。

大学訪問:玄洋高校(10/24)

- ◆女子でもやりたいことを全力でしてもぜんぜん恥ずかしくないことがわかった。
- ◆性別で差別されるんじゃないかと、自分の好きなことをやる。
- ◆これから職に就く時に必要なことが参考になりました。

ジョイントセミナー(11/5)

- ◆理系にかかわる女性が良いものを開発しているということを知った。理系に進みたい。
- ◆改めて得意、不得意(教科科)で文理を選択してはいけないと思った。
- ◆理系女子はすごくかっこいいので、なってみたいと思った。

ようこそ!SAGAアグリガールの世界へ!(11/10)

- ◆2年生から化学を勉強するので興味がわいた。
- ◆「農学」についてぼんやりとイメージしかなかったけど具体的な想像がついた!
- ◆自分の選択にはなかったけど、農学部についてしりたいと思いました。

10年後の自分を覗いてみよう!(12/7)

- ◆私は理系にしようか少し迷っていたが、今回の取り組みで自信を持つことができた。
- ◆自分の夢の後おしになった気がする。
- ◆将来の進路の選択や理系・文系をよく知ることに参考になった。

文理選択を考えよう(12/20)

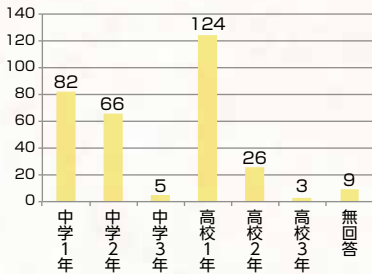
- ◆大学生二人のお話で楽しそうだなと思ったし、実験も面白かった。
- ◆理数の大学生でも迷った時期があったことが分かり、進路の決め方が身近になりました。
- ◆大学生の生活を聞くことはないので、今回の話をきくことで自分の大学生を想像できた。

有田でリケジョ体験! in 女性フェスタ(3/3)

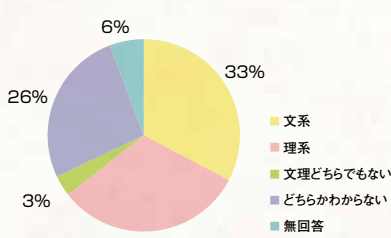
- ◆アニメーションの作り方がわかって、将来の夢に近づけた気がする。
- ◆普段あまりできない実験をすることができた。
- ◆今の技術のすごさや医者にはたくさんの種類があることが分かった。

アンケート結果

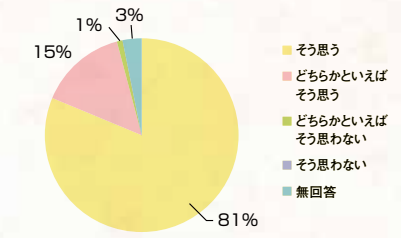
Q1 今現在、何年生ですか？



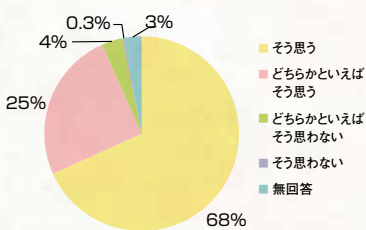
Q2 自分は理系と文系どちらに向いていると思いますか？



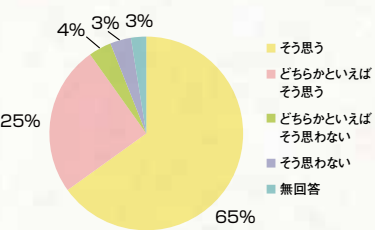
Q3 今回参加した取り組みの内容は面白かったですか？



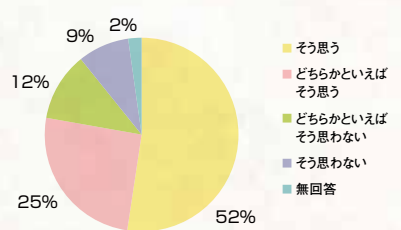
Q4 今回の取り組みは進路選択の参考になりましたか？



Q5 理科や数学を勉強することは自分の将来のために重要だと思いますか？



Q6 今後、理系の進路を前向きに選択しようと思うようになりましたか？



各報道で紹介されました!

トピックス

8月9日 有田イレブンテレビ

「女子のためのセラミックサイエンスの世界」を紹介

9月30日 大分合同新聞

「理系の世界を覗いてみよう! ~座談会付き未来セミナー~」を紹介

11月10日

サガテレビ

「ようこそ! SAGAアグリガールの世界へ!」を紹介

3月6日 有田イレブンテレビ

「有田でリケジョ体験! in 女性フェスタ」を紹介



12月9日

佐賀新聞

「10年後の自分を覗いてみよう! ~ダイバーシティ入門講座付き未来セミナー~」を紹介



継続・育成型
リケジョプラットフォーム in SAGA

<https://rikejo.oedi.saga-u.ac.jp>

詳しくはホームページをご覧ください。様々なイベントや活動報告が掲載されています。





佐賀大学
SAGA UNIVERSITY

ダイバーシティ推進室

〒840-8502 佐賀市本庄町1

E-mail: gender@mail.admin.saga-u.ac.jp

TEL.0952-28-8393

FAX.0952-28-8890

詳しくは
\\ コチラ //

